

【当直室調教】「これはただの診察だよ？」
～真面目な看護師を、優等生ぶったエロ医者が体で壊す強制治療～
サンプル（一部抜粋）

「今日一日、随分疲れた顔をしていただろ？
顔色もよくないし、心配だね。こっちにおいで。」

（ポンポンとベッドを軽く叩く音・小さな女性の足音・ベッドに座る音）

「...診てあげよう。
必要なら薬も出すからね。」

（聴診器をもつカチャッとした音）

「ん？
休憩中なのに申し訳ないって？
そんなこと、気にしないでいいんだよ。
医者として、看護師の体調不良は見逃せないからね。」

（聴診器で胸の音を聞きながら、こりっと指の先で乳首を撫でる音）

「しー。今、声を出したら胸の音が聞こえないだろ？」

（こりこりとさっきよりも大胆に乳首を擦る音）

「呼吸が浅いね。もう少し早く擦って、様子を診てあげる。」

（むにゅっと乳首をつまんで、優しく指の腹で弄ぶような擦れる音）

「...声、どうしたの？
胸に異常がないか、見ているだけなのに。」

「.....何でもない...か。困ったな。
症状を隠されると正しい診断が出来ない。目視で確認するよ。」

「...そうだね。君の身体を心配して、僕が診てあげてるんだよ。
休憩の時間を削って、ね。」

（ぬちゅっ...と少しだけ挿入する音）

「ただの診察なのに、発情したのは...誰？」

（ぐちゅ...と音を立てながら、少しずつ深く挿入していく）

「そうだよ。その通り。全部君のせいだ。」

（ぐじゅっとした音と共に一気に最奥を突き上げる音）